

70年代からのクラシカルモデルに最先端の技術で走行感を引き出した

VIGORE のハンドメイドロードバイク 6月23日受注開始

—日本の美意識を伝える 漆芸家 服部一齋氏とのコラボモデルも同時発売—



創業から93年目の京都の自転車ブランド「VIGORE」(ビゴレ)を手がける有限会社ビゴレ・カタオカ(本社:京都市、代表:片岡聖登)は、3代目フレームビルダー片岡聖登の手により一つ一つ製作するハンドメイドフレーム「70next」(ナナゼロネクスト)を6月23日(木)より受注開始します。

VIGOREで70年代から受け継がれるクラシカルなデザインでありながら、クロモリ製ロードバイクのレーサーとしての走行感を最大限に引き出しました。価格は完成車1台 799,700 円～(内税)、フレーム&フォークは1台 374,600 円～(内税)の完全受注製作です。「70next」をベースとした、京都の漆芸家 服部 一齋氏との記念コラボモデル「70next 知足」(ナナゼロネクスト ちそく)も同時発売します。



これからのもののあり方を考える自転車を

当社は1929年に京都で創業。1963年にはオリジナルブランド「VIGORE」を興し、国内初の独自ブランドショップを展開した国内フレームビルダーの老舗です。無駄を削ぎおとし、必要なもの

だけを残すという哲学の下、ものづくりをしてきました。

創業 100 年を前に、先代から受け継がれた想いを見つめなおし、これからのモノのあり方を考えるための自転車をつくりたいという想いから開発が始まりました。鍛えあげられた技術でこそ性能が発揮できるラグ溶接で職人がひとつひとつ手工業で製作しています。VIGORE のスチールフレームの原点である 70 年代のクラシカルなデザイン設計でありながら、最新のレーサー感の乗り味を楽しめる自転車が完成しました（詳細は参考資料 p.3 参照）。

日本の美意識を伝える

ビルダー片岡聖登がこれまで培った技術の粋を集め、新たに開発したクロモリ製ロードバイク「70next」。VIGORE で 70 年代から受け継がれるラグ溶接を採用したデザイン設計をベースに、最新のクロモリ素材とコンポーネントパーツで、レーサーの走行感を最大限に引き出しました。片岡の手でひとつひとつ製作し、次のメッセージを込めました。

余分なものを削ぎ落とし、本質を追求した先に生まれる機能美。日本のものづくりにおいて、その哲学・美意識は受け継がれてきました。そうした想いでつくられたものを人々は大切な何かを感じ、丁寧に扱ってきました。その感性を今改めて見つめ直すという想いをこめ、漆芸家 服部一齋氏とのコラボモデル「70next 知足」も販売します。見るたび、乗るたびその想いが伝わる自転車になることを願っています（詳細は参考資料 p.4 参照）。

本件に関するメディアからのお問合せ先

有限会社 ビゴーレ・カタオカ

企画 片岡 有紀 TEL: 090-1904-8871 Email: info@vigore.co.jp

商品概要

商品名	70next	70next 知足
価格	完成車：799,700 円～ フレーム&フォーク：374,600 円～	完成車：1,210,000 円～ ※フレーム&フォークの販売なし
納期	約 4 ヶ月～6 ヶ月	約 6 ヶ月
専用 Web サイト	https://vigore.co.jp/brand/70next/ 	https://vigore.co.jp/brand/chisoku/ 

※上記価格は税込み価格です。

会社概要

社名：有限会社 ビゴーレ・カタオカ （代表者名：片岡 聖登）

所在地：京都府京都市左京区岩倉南四ノ坪町 55

web サイト：<https://vigore.co.jp> TEL: 075-791-6158



参考資料：70next



クラシカルで新しい美しさ

全体のデザイン、ラグ、ヘッドバッヂ、エンドキャップ、そしてエンド接合部の仕上げまで、70年代から受け継がれた技術とデザインを再現。そこから、不要なものは削ぎ落とし、必要なものだけを磨き込む VIGORE のデザイン設計の原点を改めて突き詰め、VIGORE らしい美しさを実現しました。

高い走行性を実現するフレーム

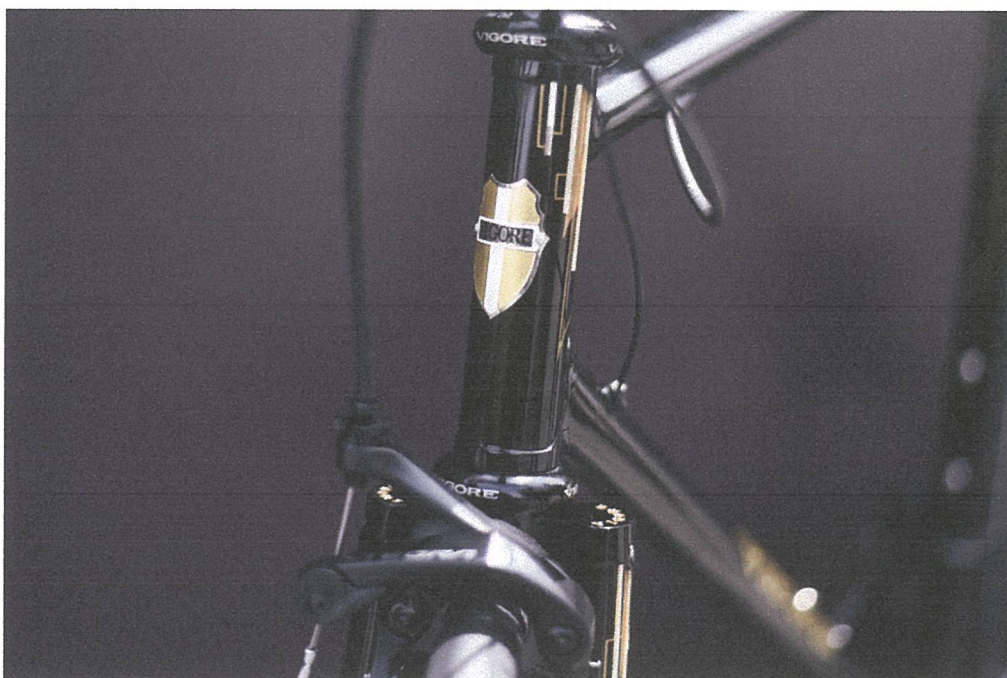
クラシカルなラグ溶接が抱える、溶接時の熱による軟化の課題に対応する為、フレーム素材には KAISEI 8630R を使用しています。KAISEI 8630R は肉薄で軽量の素材でありながら、クロモリにニッケルが配合されている為、溶接時の熱で結合部に剛性が生まれます。これが、クロモリのしなやかなバネ感と合わさり、乗り手の力を前に進む力に変換します。この溶接時の熱による組織変化を最適な範囲に留め、素材の力を最大限に引き出せるよう、片岡聖登が長年鍛え上げた職人技でひとつひとつ手工業で製造します。

軽量で操作性の高いコンポーネントパーツ

伝統的な技術や仕様を応用しながらも、最高の乗り味を体感していただけるよう、推奨完成車モデルのコンポーネントパーツは、SHIMANO ULTEGRA Di2 キャリパーブレーキ仕様を採用。STI レバーがコンパクトになり、ハンドルがより握りやすく、軽量となりました。さらに、電子制御の為にワイヤーの抵抗感も減少したことで、ロードレーサー本来のハンドリング感と走行感を実現しました。この最新のコンポーネントパーツは、見た目にも VIGORE らしいシンプルなデザインと調和。まさに、機能性も美しさも兼ね備えた完成車となりました。

※別コンポーネントをご希望の場合は別途お問い合わせください。

参考資料：70next 知足



メッセージを伝えるフレーム

日本で脈々と受け継がれてきた「余計なものを削ぎ落とし、本質を追求した先に生まれる機能美」。日本のものづくりにおいてその哲学・美意識は、脈々と受け継がれてきました。そのような意識でつくられたものに、人々は大切な何かを感じ、そして丁寧に扱ってきました。

モノに溢れた時代。極めて利便的な世の中ですが、手軽になんでも手に入れることで、逆に大切なものを失っていないでしょうか。今あらためて、この地で受け継がれた哲学や感性を見つめ直すことは、ものの選び方、ものとの過ごし方の変化につながり、そして目に見えないものを大切にする豊かな生活にも繋がるのではないかと考えています。この VIGORE の想いを、強いメッセージ性と共に表現した自転車が、この「知足」(ちそく)です。

今、満ち足りていることを改めて認識し、本当に自身が気に入ったもの、美しいと感じたものを大切に扱うことで人々の時間がより豊かなものとなるように、そして人々の足の一部となる自転車という道具をもっと深く知り愉んでいただきたいという想いで「知足」と名づけました。

漆芸家 服部 一齋 × フレームビルダー 片岡 聖登

奈良時代より永く受け継がれてきた蒔絵や螺鈿などの漆芸の技術を鍛え、進化させてきた漆芸家 服部一齋。ものそのものの魅力を最大限に際立たせたいという想いのもと漆芸と向き合う服部氏の描くデザインは、自転車フレームそのものの構造と一体化し、VIGORE で受け継がれてきた、細部に渡る線と曲線の美しさを際立たせています。漆芸と自転車で生み出された研ぎ澄まされた美しさは、時間をかけて紡がれるものに溢れる京都という地で培われたその感性を最大限に表現されていると感じています。まさに「知足」にかける想いを体現したものが完成しました。

参考資料：プロフィール

VIGORE | フレームビルダー 片岡 聖登



1957 年京都市生まれ。

1980 年代より、フレームビルダーとしての活動を開始。

自らもトライアスロン、ダウンヒルレース、ロードレースなどさまざまな競技に参加しながら、自転車を設計・製作してきた。2009 年グッドデザイン賞 中小企業長官賞を受賞、JIDA ミュージアムセレクション Vol.11 選定商品選出、2015 年 Good Design Award など受賞多数。

漆芸家 | 服部 一齋



1975 年京都市生まれ。

2001 年服部峻昇に師事、2018 年に独立。翌 2019 年には第 29 回日工会展 日工会受賞、第 65 回全関西美術展 第一席受賞、第 31 回工芸美術創工会展 京都府知事賞受賞。その後も改組新 第 7 回日展 初出品初入選、第 30 回日工会展第 30 回記念賞など受賞多数。

参考資料：VIGORE について

VIGORE の歴史や自転車づくりに向けての想いは弊社 HP よりご覧ください。

■POLICY : <https://vigore.co.jp/about/>



■BUILDER : <https://vigore.co.jp/about/builder/>



■HISTORY : <https://vigore.co.jp/about/history/>



参考資料：写真について

本プレスリリースに使用している写真は以下よりダウンロードできます。

URL: <https://app.box.com/s/uehkxz6ephfbtfcf7x0p61g6x668umy>